

感染症情報 6月26日～7月2日

府下小児科194医療機関(堺市19)から

①ヘルパンギーナ	1,382例(堺市	133例)
②感染性胃腸炎	718例(堺市	44例)
③溶連菌感染症	462例(堺市	54例)
④RSウイルス感染症	345例(堺市	30例)
⑤咽頭結膜熱	163例(堺市	21例)

府下296医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 172例(堺市 10例)

前週比8.1%減の3,283件の報告数であった。ヘルパンギーナが府下で6%減、堺市で105例→133例であった。定点あたりは府下が7.65→7.12で、堺市は5.53→7.00。感染性胃腸炎が府下で前週比1%増、堺市で前週57例→今回44例であった。溶連菌感染症が府下が1%減、堺市で前週65例→今回54例。RSウイルス感染症が府下で31%減、堺市で48例→30例であった。定点あたり大阪府が2.61→1.78、堺市が2.53→1.58。咽頭結膜熱が府下で4%減、堺市で前回20例→今回21例であった。

インフルエンザが府下で前週159例→172例で8%増、堺市で前週17例→今回10例であった。定点あたり大阪府は0.54→0.58、堺市で0.59→0.34であった。

府下296医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 1,754例(堺市 211例)
大阪府定点 5.93 堺市定点 7.28

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
46	112	139	331	229	170	185	209	110	118	105	1754

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週1,506例→今回1,754例で16%増、定点あたり5.16→5.93に、堺市は前週177例→今回211例で19%増、定点あたり6.10→7.28であった。3週連続、大阪府の11ブロックで堺市ブロックが定点当たりのワーストになっている。

麻疹の報告はなかったが、風疹が大阪市で1例あった。